

「macrocystic CPAM に対する胎児治療の有効性に関する研究」に対するご協力のお願い

「CPAM (Congenital Pulmonary Airway Malformation)」とは、先天性肺気道奇形という胎児の肺の一部に嚢胞（液体や空気がたまる袋状の構造）ができる先天性の疾患です。「macrocystic CPAM」とは、CPAM の中でも大きな嚢胞性病変を主体とする病型で、病変が大きくなると心臓や正常な肺を圧迫することがあります。神奈川県立こども医療センター胎児診療・産婦人科では「2017 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に当院で出生した、胎児期に macrocystic CPAM と診断され胎児治療を受けたお子さん」を対象に胎児治療後の病変変化や周産期転帰に関する研究を実施し、今後の診療に役立てることを目的としています。

研究課題名	macrocystic CPAM に対する胎児治療の有効性に関する研究
研究の対象	2017 年 1 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日までの間に当院で妊婦健診を受け、当院で出生したお子さんのうち、胎児期に macrocystic CPAM の診断を受け、胎児期に嚢胞穿刺術または嚢胞羊水腔シャント術の治療を受けたお子さんとそのお母さん
研究の目的・方法 (試料・情報の利用目的及び利用方法)	macrocystic CPAM に対する胎児治療の有効性を検討することを目的とします。電子カルテ上の診療録、超音波画像、新生児診療録を用いて、CVR (CPAM Volume Ratio:CPAM 病変の大きさを評価するための指標)、胎児水腫の有無、周産期転帰などについて後方視的に検討します。
研究期間	2026 年 7 月 ～ 2026 年 12 月 31 日
研究に使用する試料・情報の項目	母体背景、妊娠週数、超音波所見(CVR、胎児水腫、縦隔偏位など)、胎児治療内容、分娩情報、新生児治療内容、周産期転帰など
試料・情報の取得方法	上記のデータを電子カルテから抽出します。
共同研究機関と研究責任者 試料・情報の提供先の機関 (名称と機関の長の名称)	本研究はこども医療センターのみで実施され、試料・情報の他機関への提供はありません。
本研究の情報の管理について責任を有する者・所属	神奈川県立こども医療センター 胎児診療・産婦人科 喜舎場 千裕

本研究はヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会での修正版）及び人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針、個人情報の保護に関する法律等に従って実施され、患者さんの個人が特定できる情報とは切り離れたうえで使用し、個人情報外部に漏れることがないようにします。また、プライバシーにも十分に配慮して行います。

研究の成果は関係の学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できることはありません。本研究は胎児診療・産婦人科内の研究費で行っており、企業等からの資金提供は受けておりません。

本研究の対象となる患者さんご自身やご家族でお子さんの情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、下記連絡先までご連絡ください。研究データからご自身やお子さんの情報を削除いたします。その場合も診療において不利益を被ることはございません。尚、統計解析開始後は情報の削除ができないことをご了承ください。

本研究についてお尋ねになりたいことがございましたら下記連絡先にお問い合わせください。個人情報等に支障のない範囲で研究計画書を閲覧することもできますのでお申し出ください。また、苦情等の相談窓口はこども医療センター総務課倫理委員会事務局です。

連絡先 研究責任者 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
胎児診療・産婦人科 喜舎場 千裕
Tel : 045-711-2351 内線 5478

相談窓口 地方独立行政法人神奈川県立病院機構
神奈川県立こども医療センター
総務課 倫理委員会事務局
Tel : 045-711-2351 内線 2212

けんきゅう きょうりょく ねが 研究への協力のお願い



かながわけんりつ いりょう たいじしんりょう さんふじんか なか
神奈川県立こども医療センター 胎児診療・産婦人科では、「おなかの中で CPAM（シーぱ
む）という肺の病気が見つかった赤ちゃんの治療と経過」について研究を行っています。

CPAM は、生まれる前の赤ちゃんの肺に袋（のう胞）ができる病気です。病気が大きくなると、赤ちゃんの心臓や肺を圧迫することがあります。そのため、おなかの中で治療を行うことがあります。

けんきゅう しんさつ けんさ にゅういん ちりょう きろく しら
この研究では、これまでの診察やエコー検査、入院や治療の記録を調べて、どのような
ちりょう あか やくだ あき もくひょう
治療が赤ちゃんのために役立つかを明らかにすることを目標としています。

1 テーマ -CPAM のある赤ちゃんのおなかの中での治療と経過についての研究-

（対象者：2017年1月～2026年3月までに当センターで CPAM と診断され、

たいじちりょう う こ ああ
胎児治療を受けたお子さんとそのお母さん）

2 この研究で皆さんにお願いしたいこと

あか なか しゃしん にんしんちゅう う
赤ちゃんがお腹にいるときのエコー写真や妊娠中または生まれたあとのカルテの
きろく けんきゅう しよう み
記録を研究に使用するので見せてください。

3 研究期間 2026年7月から 2026年12月31日まで

4 研究をする人 胎児診療・産婦人科 喜舎場 千裕



けんきゅう けんきゅう かん き まも おこな みな こじんじょうほう
この研究は、研究に関するいろいろな決まりを守って行います。皆さんの個人情報や
プライバシーをまも けんきゅう けつか はっぴょう
守り、研究の結果を発表することがありますが、その時も誰のことかわか

らないように^{はっぴょう}発表します。

自分のことは研究^{けんきゅう}に使^{つか}わないでほしいと思うときは、先生^{せんせい}や家^{いえ}の人^{ひと}に伝^{つた}えてください。

その時^{とき}は研究^{けんきゅう}に使^{つか}うことはありません。使^{つか}わないでほしいと言^いっても、病^{びょう}院^{いん}での診^{しん}察^{さつ}や

治^ち療^{りょう}、看^{かん}護^ご師^しなど医^い療^{りょう}ス^たッフの対^{たい}応^{おう}は変^かわりません。よろしくお願^{ねが}いします。



れんらくさき けんきゅうせきにんしゃ たいじしんりょう さんふじんか
連絡先 研究責任者 胎児診療・産婦人科

きしゃば ちひろ
喜舎場 千裕

でんわ：045-711-2351